

部局名	都市整備部	所属名	都市計画課	所属長名	藤井 信三	電 話	483-1151 内線3510
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3324		事務事業名称	都市計画事業					短縮コード	経常	3324	臨時	3325
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	01	都市計画総務費	
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市地区計画等の案の作成手続に関する条例、八千代市都市計画公聴会規則、八千代市都市計画施設等の区域内における建築の許可等に関する規則，八千代市住居表示に関する条例，住居表示審議会条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
調和のとれた都市として一体的・総合的に整備・開発・保全するため，昭和33年10月3日に概ね国道296号以南の区域を，また，昭和38年10月14日に市全域を都市計画区域に指定した。 都市の整備，開発その他都市計画の適切な遂行のために必要な業務を実施し，計画を策定する。 住居の表し方を街区番号と住居番号による表示に改めて，合理的な住居表示の整備を推進する。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
首都圏の住宅都市として京成線沿線を中心に市街化が進行し人口が増加してきたが，東葉高速鉄道の開通に伴い，沿線を中心に一層市街化が進行し，人口も増えつつある。無秩序な市街化を防止し，計画的な都市整備が図られ，良好な都市環境が整備されるよう法的体制を整備する必要がある。					大項目（節）	06	市街地整備						
					中 項 目	01	市街地整備						
					小項目（施策）	01	市街地の整備・誘導						
					細 項 目	02	区域区分・地域地区・地区計画制度の活用						
05	住居表示等の整備												
				実施計画の計画事業	4207	都市計画道路整備プログラム策定事業							
					4601	村上地区住居表示等整備事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	都市計画区域							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： (1)都市計画の決定・変更 (2)土地取引に関する届出・調査事務 (3)建築行為許可申請事務 (4)地区計画届出受付事務 (5)都市計画図等作成・配布事務 (6)住居表示設定及び証明発行事務							
	※平成23年度に計画していること： (1)都市計画の決定・変更 (2)土地取引に関する届出・調査事務 (3)建築行為許可申請事務 (4)地区計画届出受付事務 (5)都市計画図等作成・配布事務 (6)住居表示設定及び証明発行事務							
意図 （何を狙っているのか）	都市的土地利用の計画的推進を誘導する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	21年度	22年度		23年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	都市計画区域面積	ha	5,127	5,127	5,127	5,127	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	市民への説明会・周知回数及び県との調整回数	回	10	10	8	10	
	指標2	審査及び調査件数	件	27	30	28	30	
	指標3	申請受理件数	件	9	30	37	30	
成果指標	指標1	都市計画の決定・変更件数	件	2	6	7	0	
	指標2	受理件数	件	27	30	28	30	
	指標3	許可書発行件数	件	9	30	35	30	
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3324	事務事業名称	都市計画事業				所属名	都市計画課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			都市計画情報のインターネット配信やGISの利用について推進を図る。また、 臨時的任用職員等の活用により業務の効率化を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			全庁的な取り組みによりIT化の推進，また， 臨時的任用職員等の活用により， 業務の迅速化・効率化が図られ成果は向上する。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☒			
		不 変	☐	☐	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
法律に基づき決められた手続であり、市民や議会からの意見や要望はありません。									

所属長コメント	都市計画法に基づく届出，許可申請等に係る事務処理については， 臨時的任用職員等の活用も含め今後も効率化を図っていく。								
	評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			インターネット等の配信については, 費用対効果を検証したうえで順次推進すること。 また, 臨時的任用職員の活用については業務量等を検討すること。				
		☐ 手法プロセスの改革・改善							
		☐ 事業規模の拡大・縮小							
☐ 統合・役割見直し									
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									